京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太

印刷人 松久神一郎

發行所 京城西署西小門通（電話六六三） 京城新報社

株式賣買の手續（八）

株式小僧

▲定期公債賣買

一現今當取引所市場にて賣買する公債の種類は（一）整理公債（二）軍事公債（三）特別五分利公債（四）甲號五分利公債の四種に有之候

一取引の約定期限は各一ヶ月とし毎月五日限十五日限及廿五日限の三期に分たれ其各期賣買の開始日は左の通に御座候

「五日限」……前月六日より開始

「十五日限」……前月十六日より開始

「廿五日限」……前月廿六日より開始

但開始の日が休場に當る時は其翌日より開始し受渡期日が休日に當る時は其前日に繰上げ受渡を爲すの規定に有之候

一賣買御注文は額面壹千圓（拾枚券）を單位とするの定めに有之候に付七百圓、千三百圓、千八百圓てふ端數なき樣御注意願上候

但呼直は額面百圓に對する時價に候

一賣買方法に關し左記各項御承知置被下度候

（一）立會及直段稱呼は株式の定期と同樣本場後場兩回に於て寄附二の廻り大引等順次賣買相成候

（二）各期限賣買の終りは各受渡期日の前日の本場限りに有之候

（三）賣買方式も株式と同樣「買建」に對する「轉賣」「賣建」に對する「買戻」若くは御都合に依り先期に「乘替」賣買を爲し得らるゝ次第に付其都度電報又は書信にて御通知相成度候

一御注文手續及證據金の御提供は總て定期株式取引に準ずるもの御承知被下成度候

一受渡に用ふ證券の額面は無記名の五百圓券千圓券の二種に限るの定めに有之候に付此儀御承知置願上候

鎭南浦通信（五日）

▲金融の潤澤 本年は十月頃より米、大豆其他の雜穀輸出移出盛んにして昨今尙依然として賑盛を極めつゝあり爲めに三銀行とも非常の繁忙を呈し居れり然れども例年の當期に於けるが如く一般金融の逼迫したるが爲めに三銀行の繁忙を來したるものにあらずして却つて一般金融は潤澤なるが之れ全く本年は各種工事の進捗したると米雜穀の出廻盛なりし爲め一般に手許潤澤となりし結果なる可しと云ふ而して各質店に於ても例年當期は入質甚だ多く質受の如き皆無なりしに本年は入典は殆んど皆無にして受出し頻々たりと云へば以て中流以下の金融も如何に潤澤なるかを想像するに足る可し

▲水道問題成行 水道敷設に關しては當各國居留地會にて專ら意をそゝぎ元度支部の設計に係る設計以外に牛山々麓に水源地を發見し宮地技手をして一意其調査に當らしめ畧々設計成り之れが其筋の當者に提出し居たるが官制改正の結果は一時何等の沙汰もなく行惱みの體にして市民の消息を耳にせんと希望する者頻也き然るに今般内務部より更らに第二設計書（即ち民留地會の設計に係るもの）を提出せよとの通達に接し居留地會にても其端緒を得たる心地して早速宮地技手の實測なる一水道水源地平面圖、二送水管及び配水管、三布設平面圖、四送水管布設縱斷圖、五濾過池構造圖、六配水池構造圖、七沈澱池構造圖、八水質試驗成績及び當居留地内井水檢査成績表等一切取揃へ提出したり而して同會にては尙其筋より專門技術者を派遣して一應實地踏査の上正確なる實地設計を立てられむ事を望むとの請願書を附したり

▲鐵道營業狀況 平南鐵道は開通以來些少の故障もなく漸次繁忙に赴きつゝあるが當驛にても乘降客及び貨物等の日々増加するあり頗る盛況を呈し居れり今去月中の營業狀況を聞くに乘車客千八百十七人（内日本内地へ三十二名）下車客千七十一人（内日本内地より二十四人）にして小手荷物發送一万七百四十六斤（内日本内地へ六百七十斤）同到着一萬三千七百九斤（内日本内地より九百八十九斤）其他の貨物發送六百五十七噸半（内日本内地へ二噸半）同到着二千七百十七噸（内日本内地より九噸半）なり而して收入は總計九千百七圓十三錢にして内旅客賃金三千六百十二圓五十三錢貨物運賃五千四百九十四圓六十錢に上り居れり

△空前の大豆出廻 米穀の相場不引合にて出廻沈衰したるに引き換へ大豆の輸出移出は益々盛にして大阪商船會社にて屢船數隻を以て其運搬に從事するも尙船便の不足をかこつ有樣なるは已報の通りなるが尙依然として衰退せず益々益々盛況を呈し昨今は汽車便にて輸送する者さへあるに至れり而して小豆も之に次ぎ市場の繁忙甚だしく當業者は流氷季となり汽船の航行杜絶するに至らば汽車便にて大輸送を開始すべしと盛意氣込み居る模樣なれば昨今の景況は來年初頭にかけて決して衰退することなかる可しとなり

和歌募集

勅題「寒月照梅花」

選者 九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月廿五日、發表は四十四年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮つて投詠せられんことを希ふ

十二月二日　本社編輯局

●去月京城氣象概況（京城測候所報）

前月末より引き續き高温にして一日高極二十度二を測り同日午後濟國揚子江にありし低氣壓は濟州嶋を經て三日日本海北部に去り高氣壓は貝加爾附近より北淸に擴張し氣温下降して四日未明始めて氷點下となり且初氷を結べり之を昨年に比する十二日平年より六日各遲し九日臺灣より東海を渡り襲來せし二個の低氣壓中一は北々東に徐行し朝鮮西岸に沿ひ他は稍東偏して日本海に入らんとし各地共風雨劇しく殊に遼東地方は烈風に達し大連の如きは雨雪量百耗を超へ多數の難破船を出せり京城に於ても午後九時東十四米一の强風となり十日午後七時三十分最低氣壓七百四十二耗に降り同日の雨量三十六耗六は既往本月中に見ざる最多量なり又十六日南滿地方より來りし二個の低氣壓は並行して朝鮮を横斷し中部以北は降雪となれり之れ當地本冬季の初雪にして昨年より十三日早く平年に比し四日遲し爾後數日間晴天持續し寒氣增進して平均氣温は氷點下に降り十九日低極零下八度四に達せしも再び低氣壓は蒙古南滿地方に出現し氣界錯雜となり屢々降雨し氣温の下降を遲緩ならしめたり前述の如く本月は低氣壓の通過頻々なりし爲め平均氣壓は昨年及平年より低く氣温は却て高くして東風最多を占め降水量は平年の二倍以上に達し蒸發量は昨年より遙に寡く快晴及曇天日數は平年保持せしも降水日數多く結霜日數寡かりし

項目	本年	昨年	平年
平均氣壓（粍）	七六三、九	七六三、二	七六三、八
平均氣温（攝氏）	五、五	五、二	四、七
最高氣温の極	二〇、二	二〇、三	二〇、三
最低氣温の極	（一）八、四	（一）七、〇	（一）九、六
平均速度（一秒時間米）	三、〇	三、三	三、〇
最多風向	東	西	西
平均濕度（百分率）	七一	六七	七〇
日照時數（同上）	五一	六六	六三
蒸發量（粍）	五八、九	七三、〇	六七、〇
降水量（粍）	七八、三	三、七	三〇、八
同上日數	一〇	八	八
雪日數	一	一	一
濃霧日數	二	二	一
快晴日數	八	一〇	八
曇天日數	六	四	六
霜日數	一三	一二	一八
暴風日數	三	四	三

山中鹿之助　第廿九回

西尾麟慶演

鹿之助は父の教訓を聞き 鹿「這は有難き父上の仰せかな、父母に從ひ本國に歸らざるは不孝の至りとは申しながら是まで父を始めとして井上先生が教へたまひたる軍學兵法皆無はせん事の悲しさ、何れにか至つて良き主を撰み、仰せの如く天晴軍功を顯して御目にかけ度候なり、身の暇を給はらば之に過ぎたる事はなし 森「ム、天晴なる汝が決心されば身の暇を取すべし」と之によつて更科も今年十五歳の愛兒に別る事は悲けれども、又其行末も思いやられ夫の言葉に從ひ愈よ鹿之助に身の暇を遣はしまする、と云ふ事になる茲で親子別の盃を爲し、城中の者にも悉く道物を與へ、金子も別與へて名々身の暇を取らせました、茲に森之助は剃髮を致し妻の更科を連れて、久々にて本國信濃へ立歸りました、此方は鹿之助名殘り惜しくも兩親に別れて志す處は都なり、我は斯る山中に育ちたる者なれば兎に角京都へ登つて堂上方の樣子をも見、又一天萬乘の君の在します皇居をも拜し、夫より四國九州西國と經廻り取て返して北國東國奥羽の端までも足の緩んだけは經歷し、人情風俗地理等を察し、而して後好き大將を撰み夫に仕へて功名を顯さんと云ふ覺悟を致しまして、先づ京都を志して上ります、偖て京都三條通りへ來つて宿を取り、名所を見物致さんとする、頃しも彌生の末で御座ひますから、其風流雅致は申すまでもなし、みやびの姿形は目を驚かすばかりで御座ひます、田舍から出て見ると恰で仙境に入りたるかと思ふばかり、嵐山三室の御所、華頂山、加茂川の流れ、渡月橋、清水音羽の瀧、東寺の堂、金閣寺、八坂の塔何れも美事なもの日々之を見物致して居りまする、或一日清水觀世音へ參詣を致し、其下の茶店へ來りまして休息を致します、京都には公卿武士が澤山居りまする、勿論京都ばかりでも御座ひません、諸國から出て來た武士でありますが、京都へ來て居て遂に京都の言葉を眞似るやうになつて居ります族が澤山あるので御座ひます、鹿之助が茶店に居りまするに傍に二人の武士が居つたが是は三石三斗と云ふ武士で御座ひます、何ら云ふ譯だと云ふと一年の内に三石三斗しか貰へないのであります、其代り内職を致しまする、元結を綯ましたり花めくりと云ふ札を拵へたり、傚粒を拵へたりして居ります、併しそんな卑しい足輕同然の者でも皆手なぞは好く書ます、堂上方の手本を貰つて心ある者は手習を致しまするから、多少の文字を覺ゆる樣になつて居りますまゝ、他國から見ますると讀だり書たりする事は幾らか出來まする、今鹿之助の樣子を見て是は必ず浪人者に相違ない、未だ年が若いに依てからかつて遣らふと云ふので賤い了見の奴で〇「チヨツと若し、お武家さん貴下何處です 鹿「此方か、手前は甲州武田方の浪人である 〇「ア、左樣かな甲州と云ふたら、豪イ山の中やナ 鹿「仰せの通りで御座る 〇「モウ仕た事はあらへんが、仰山に名物には葡萄と黒柿が宜ふ出ると云ふナ 鹿「左樣國産と致して葡萄黒柿は澤山で御座る 〇「ヤア其外には何かありますな、是は人を輕蔑して居るな憎い奴だと思ひましたが、年若なれど鹿之助は大量な人物でありますから、ヶ樣な事に頓着致しません彼是致す内に夕景になりましたから、茶店を出でまして三條の旅宿へ歸らんと參りまするど、向ふの方より輿物が一挺ハウ〳〵と制し聲をかけて參ります、菊桐の御紋の附て居りまするのは餘程高位の御方と見へました、夫に乘りましたは姫君と見へまして、其嬋やかなる事は實に言語に述べ難い、尤も都に於て指を折らるゝ中御門中納言教之卿の姫君九重姫で御座ひます鹿之助は之を見まして心の中に我甲州の山中に於て育ち斯る貴き方を見る事稀にて、又かゝる美人を今まで見たる事なし、男子と生れ出たる以上はかゝる美人を妻と生し一生涯の苦樂を共に致したならば嘸や樂みならんと暫し茫然と致して夫へ佇みました

(續) 外人の視たる半島(二)

KOREAN PENINSULA AS VIEWED BY A FOREIGNER.

一外人記述

▲凡そ何れの政府、何れの内閣とを不問、主腦者其人の抱負と識見及性格とに因つて其施政に一の特色が現はれるものだ、統監政治亦た然りで、故伊藤公の時代には統監府の施政に公の特色が發揮された、故曾禰子の時代には統監府の施政に子の特色が無遺憾發揮された、寺内將軍統監となり亦た總督となるに迨んで寺内的特色が其施政に現はれるのは道理上而かあるべきの事だ

▲故伊藤公統監在職中仁川の魚市場落成式に臨んだ、市場は只是れ一小魚介賣買之處、其落成式に公の臨場が已に意外であつた、而るに公は其意外に尚一層の意外を加へ、トタン屋根の下に立つて門戸開放、機會均等に關する大演說を試みられた、嗚呼伊藤公、伊藤公たる所以は茲にあつた、而して公は其在職中統監府の施政に不絕世界的伊藤の特色を發揮された。

▲曾禰子の統監となるや伊藤的特色は統監政治より失せた、而かもソレに代つたものは曾禰的特色であつた、曾禰的特色とは何ぞ、曰く丼は左に書くが如しだ。

▲外交顧問スチーブンスが兇徒の手に斃れた、訃報に接した曾禰統監はスチーブンスの爲めに追悼會を發起した、其發起は殊勝であつたが彼れが撰める追悼會の場所が定に珍妙であつた、彼れは何から割り出したか知れぬがクリスチアンたるスチーブンスの追悼會を南山本願寺で營まんとした、群議は之を排した、而して彼は二十四時間群議に抗爭した後トウトウ群議に壓せられて追悼會を英國敎會堂へ持つて行つた

▲クリスチアンの追悼會を佛敎寺で營む、曾禰子爵の頭腦は之れ位に並外れであつた、此並外れが子爵の特色であつた、而して其特色は無遺憾施政の上に發揮された、世人今に於て曾禰子在職期を混沌時代と云ふ、菽麥の辨別なき特色は實に危哉。

▲第三の統監寺内將軍は曾禰子時代の混沌を始末すべく、而して半島の前途に光明を興ふべく起つた、將軍の大命を拜するまづ第一に警務機關の改造をやつた、警務機關の改造は弊政改革の上に於て必要であつた、世に謂ふ寺内式特色は警務機關の改造に因つて徐々に發揮された。

▲創め寺内將軍の統監府に臨むや恰もキリストがエルサレムの神殿に臨みしときの如き概があつた、魑魅魍魎悉く退散し、官紀立ところに振粛した、改革者としての將軍は如斯にして極めて短期に其業を全ふした、將軍の特色や實に改革に於て遺憾なく發揮された

▲改革完成後の將軍は併合を了へて總督となられた、總督となられた將軍は總督政治の主腦者であるのだ、曾禰子幹政改革の如き消極的の仕事は已に過去の事だ、總督政治主腦者としての將軍は其任務上半島開發なる積極的大事業に於て今後其特色を發揮せねばならぬ、將軍の任務や實に重いかなだ。

▲李王家と我皇室

東京電報(六日) 李王來朝說に就き寺内總督は右を否認し居れり且つ李王家東京移住說は全然無根にして李王家は朝鮮に永住し朝鮮人會の儀表となりて敎育産業の奬勵等其他の事業の中心となり朝鮮開發に盡力する筈にて我皇室及び總督に於ても至極贊成する所なりと

▲李家職制の發表期

先頃來圖書寮に於て調製中なりし李王家職制は近々裁可を得て寺内總督の歸任前に發表せらるべしと

▲朝鮮海峽飛行計畫

冒險家丹波五郎氏は來春匆々日本製水陸兩用飛行機にて朝鮮海峽を飛行し我國飛行界にレコードを作らんと目下準備中なりと

▲文部省の講習會

文部省に於て昨五日より全國各府縣師範學校修身科擔任敎師を召集し國民道德の向上を期せん目的を以て講習會を開催したり

▲淺間噴火の其後

淺間山の鳴動は終熄したるも噴煙尚盛なり然れども最早や危險の狀態なく附近の民心漸く安堵せり震災豫防調査會よりは昨日大森博士佐藤學士等一行噴火調査の爲め上野發長野縣に向へり

▲後桃園院御親祭

今六日午前九時より宮中皇靈殿に於て後桃園院天皇御親祭行はせられ午前十時天皇陛下出御御玉串を奉り御敬禮御告文を奏し給ひ次で皇后陛下皇太子同妃兩殿下各皇族殿下及び宮内官の拜禮ありたりと承はる

▲祭粢料の御下賜

故錦鷄間祗候貴族院議員男爵鄕純造氏生前の功勞を思召され祭粢料として一千圓下賜の御沙汰ありたり

▲徳川議長の招宴

徳川貴族院議長は來る十日午後四時より舊幕出身者數百名を華族會館に招待して茶話會を開く由なり

今日の運勢

●十二月七日(舊十一月五日)●三碧先負丙午危△一白●物事圖り難し新事及計畫の事任意たるべし其他手控への事△三碧●諸事手控への事旅行婚談新事集團結社に尤も凶盜害遺失防ぐべし△四綠●密議熟談婚談共同協約効なし其他平凡△二黑●疾病學事及子孫商取引に不利の事多き日なり懸念すべし遺失防ぐべし△五黃●盜害札標畏るべし建築動土●吉他は見合せたるべし△六白●障害多き日新事旅行不動産の事に大に忌む無心要求にあふあらん△七赤●農業建築に吉他は手控への事殊に勸誘要求防ぐべし△八白●徒勞多し諸事控へ目の事談議婚談締約協定効無し△九紫●使宜利得ある日なり大抵吉但し不和葛藤の端を惹起し易し

▲滿韓調査會協議

政友會は同會滿韓調査會理事會協議の結果昨五日午後二時半より同會本部に於て朝鮮に關する特別委員會を開會松田代議士より朝鮮現況に關し種々說明する處ありたり

朝鮮憲兵隊の移動

(特報) 今回の移動にて朝鮮駐箚憲兵隊に轉補されたるもの左の如し

姫路憲兵隊長憲兵少佐 三根升一
免本職補大邱憲兵隊附
大坂憲兵隊分隊長 同公州 同上 篠原仁造
廣島憲兵隊分隊長 同全州 同上 大西政治郎
廣島憲兵分隊長 中倉慶治
同上晉州 旭川憲兵隊分隊長 坂本留市
同上鏡城 弘前憲兵隊分隊長 鵜村淺治
同上大邱 弘前憲兵隊分隊長 飯沼信夫
同上平壤 善通寺憲兵分隊長 村田正治
同 上 宇都宮憲兵分隊長 園田主膳
同上海州 臺灣憲兵隊分隊長 豐嶋孫治
同 上 臺灣憲兵隊分隊長 島田茂吉
同上義州 高田憲兵隊分隊長 末松吉次
同全州 熊本憲兵隊分隊長 辻本良次郎
同上咸興 朝鮮憲兵隊副官 畑原延太郎
同春川 朝鮮憲兵隊司令部附 小川徹明
同上平壤 同上司令部附 脇野義雄
同上咸興 同上分隊長 立川吉太郎
同上鏡城 同上分隊長 吉田爲吉
同上義州 同分隊長 阿部孫太郎
同上咸興 同副官 田上良雄
同大邱 同分隊長 吉村博
同鏡城 平壤同 德廣要吉
同咸興 咸興 西村鎭吉
同上大邱 憲兵隊司令部附一等軍醫 有持哲造

●醫事研究會大講演

來る十日午後一時より總督府醫院内の大講堂に於て總督府醫院醫事研究會を開き左記講演あるべしと

一、丘疹黴毒の一例 皮膚科長醫學士 荒井元
二、白斑ノ療法 同 同
三、梅毒性顆粒性結膜炎に就て 眼科長醫學士 宇野功一
四、「ストリドールコンゲニッス」に就て 小兒科長同 河野衛
五、惡性脫落膜上皮腫の一例 婦人科長同 藤井虎彥
六、加答兒性黄疸に併發せる生身不隨の一例 内科長博士 森安連吉
七、再び慢性膵腺炎に就て 外科長醫學士 室谷修太郎

因みに客員として軍醫分團研究會員並に醫師會員等も來會する由尚ほ當日講演をなさんとするものは豫じめ其演題を同院に申込むべしとなり

●東拓社債の認可期

東洋拓殖會社が百五十萬圓の社債を日本興業銀行より借入れ之れが認可を拓殖局へ申請中なることは既報の如くなるが提出後約二ケ月を經過し居るも未だ認可あらず多分來る十五日頃までに認可せらるゝ由にて同社が創立後株金の拂込に依りて得たる金高は現金百七十五萬圓にて之れを今日迄に使用したる重なる箇所は土地の買入と貸付なりといふ

●朝鮮貴族團懇親會

過般歸京したる觀光團の貴族一行は六日午後六時より京城ホテルに於て懇親會を催したる由なるが一行中の朴齊純子趙民熙尹德榮趙重應の四氏發起となり總督府の各部長官及主要大官其他朝鮮側の前大臣等を來賓として招請せり

●定例長官會議開催

六日午前十一時より總督府に定例長官會議を開き有吉、木内の兩長官、明石警務總長、俵副總裁、大屋、池田の兩局長官、鈴木司稅局長、安住書記官の諸氏列席政務の打合を爲したり

●韓銀貨幣發行週報(自十一月廿七日至十二月三日)

銀行券總發行平均高	一八、九三六、七五七・〇〇〇
内正貨準備發行平均高	六、四七一、四六四・〇〇〇
保證準備發行平均高	一二、四六五、二九三・〇〇〇
硬貨發行高(十二月三日現在)	八、三三八、八四五・〇〇〇
内金貨二十圓	一、八五〇、〇〇〇・〇〇〇
同十圓	五〇、〇〇〇・〇〇〇
同五圓	五〇、〇〇〇・〇〇〇
銀貨五十錢	一、三六一、五〇〇・〇〇〇
同二十錢	二、〇三七、〇〇〇・〇〇〇
同十錢	一、八八一、〇〇〇・〇〇〇
白銅貨五錢	五八六、七五〇・〇〇〇
青銅貨一錢	三四一、一〇〇・〇〇〇
同五厘	八一、四九五・〇〇〇

●内務談話會開會式

今回内務部にては談話會なるものを組織し長官、局長、課長及び同部内の學士等集合し第一土曜日、第二土曜日と月二回開始さることゝなり其目的は互に研究せる朝鮮開發談等を述べ又同時に名士が來賓として招じ一場の講話を乞ふことゝなり去る三日宇佐美長官邸にて發會式を催ふせりと

●榊原少將當分勤務

榊原參謀長は今回廣島灣要塞司令官に轉補し陸軍少將柴勝三郎氏其後任に補せられしが着任までは多少の時日を要する由にて榊原少將は當分事務取扱をなすべき旨昨今通牒を發せり

●安城郡方面の平穩

咸鏡北道安城郡よりの報告に依れば併合以來同郡は兎角の浮言傳はりたれども一般に平穩にして新政の恩澤に感じ何れも其堵に安んじて職業に從事し殊に聖上の鴻恩に感謝し居れり

●鴨綠江の氷上交通

中江鎭上流の鴨綠江は去る四日より新たに結氷清國領と人馬の往來を爲し居れり

●兩氏の德壽宮伺候

五日午後五時十分より李完用伯、趙重應子は相携へて德壽宮に伺候し李太王に接見し約一時間にして退出せり

●天氣豫報(自六日午後六時至七日午後六時)

晴れ

地金買入の競爭(韓銀と朝鮮人)

韓國銀行は地金買入の資金として無利子の金五十萬圓を日本銀行より借受け居るを以て同行地金の買入は圓滿に行はれつゝありと思ひの外此頃にては如何なる故にや朝鮮人側の産金者は殆んど擧つて韓銀の分析所に地金を持行くを厭ふの風を生じ從つて同行の地金買入は圓滿に行はれざることゝなりたり、而らば朝鮮人側に於ける産金者は其地金を如何に取扱ひ居るやと云ふに彼等は先般來一の獨立分析所を新設し地金は茲にて分析を爲たる後一纏として直接大坂に送り大坂造幣局の買上げを受け居るとの事なり、韓銀の分析所が何故に朝鮮人の厭ふ所となりしか、無利子の資金五十萬圓を有する韓銀が何故に朝鮮人の地金買入者に一日一日と其業務を奪はるゝに至れるかは何か深き理由の存せずんばあらず尤も聞くところに由れば韓銀にては近々買入値段を五十一圓迄に引上げ朝鮮人側と買入上大々的競爭を爲すとの事なるが右は果して得策なるや否やと某度支部當局者は語れり

●北朝鮮航路の發展

北朝鮮に於ける富源開拓の第一步は海陸の交通機關を完備せしむるにあること勿論なるが陸上に於ては已に工兵を以て應急工事を施さしめつゝあり又最近の第三期鐵道計劃等ある由なれども之れに對し沿岸航路に至りては從來吉田、田口の兩回漕業者が小汽船の沿岸航海を營みつゝあるに過ぎず且つ右私營の航路は何れも元山を起點とし居るものにて沿岸地方開發の機途に向ひたる今日に於ては此の時勢に添はざるは勿論なるが故に更に淸津を起點とする淸津雄基及び浦項間、城津を起點とする獨津、遮湖間の沿岸航路を開始せしめんとの計劃は目前咸北觀察道に於て調査中なりしが昨今咸北道廳にても引續き其計劃中にして近くこれが實施を見るに至るべしと蓋し此の航路にして開通するに至らば沿岸貿易は至大の發達を見殊に北朝鮮の名産たる大豆は各地に分布さるゝと同時に其需要に切られ其産額も增加さるゝに至るべしと

●民團議員資格に付

昨紙「民團に對する市民の叫聲」と題し報道したる項中京城民團の民會議員の資格有無に關し當局者の說を聞くに右は九月七日統監府令第五十七號を以て「引續き當分の内在任するものと看做す」と布達しあれは無論有資格に相違なく從つて其決議の有効なるは多言を須ゐざる所なり云々と又一面市民側の主張によれば法律と同一の効力ある府令のあるあれば丼は有資格ならんも根本的の意志は德義上の見地より出たる事にて既に當分とある以上は遲くも一二月間には何等かの解決あるならんと待望しつゝあるにも不拘、爾來荏苒として今日に及ぶは決して民治に忠なる所以にあらず這は德義以上の問題にして又議員は三十名の定員なるか龍山合併以來其關係上三名增加し居り是等をも早速根本的に解決せざるべからざる事と信ず云々と云ふにありて獨り民長に對する非難のみにあらず總督政治の施設に遺憾を訴へたる所以也と(電通)

●倉富長官の歸任期

五日東京出發歸任の途に就きたる倉富司法部長官は途中馬關及釜山に二泊の上八日午後南大門着入京すべしと云ふ

●農事經營と大地主

朝鮮に於ける農事經營は目下本土人間に非常に囑目されつゝあるが昨今全羅道忠清道方面に向つて盛んに耕地買收に從事しつゝあるは岩崎家の農場を第一とし大阪の伊藤氏等之れに次ぎ佐賀の某豪農も熱心に實地調査中に屬し尚ほ又朝鮮の航路に從事しつゝある右近權左衛門氏も亦東北朝鮮に向つて莫大の地所を買入れ居れりとのことにして之等各地主等を綜合すれば大地主として目すべきは岩崎、細川、伊藤村井氏等を第一として其他同方面に耕墾地を買收し居るもの等之に次ぐ次第なりと

●元山港の牡蠣輸出

近來元山港より輸出さるゝ蠣は永興灣内に産出するもの多數を占め本年は殆んど蠣の發育概して豐富にして品質又惡しからず從來雄基方面より多數の出廻品ありしも昨今は殆んど元山獨占の姿となれり而して本品は主として南清に向け輸出され先月中は銀相場上騰の爲め元山よりは約七万八千斤の輸出を見るに至り昨今の相場は大粒上等品百斤十七八圓、並十四圓五十錢、下等九圓内外にして在荷多からざるも多少出廻品ある見込なれば本月も相當の輸出を見つゝありといふ

●大聯合會と負擔額

明年四月當地に開催すべき日鮮大聯合會は屢々報道したる處なるが由來役員會に於て朝鮮日人各會議所の同負擔額査定中なりしが五日を以て全部終了したり今其の内容を聞くに總經費を約一萬圓とし各地會議所の負擔額を五百圓以上とし殘額は京城會議所に於て負擔すべく尚ほ同聯合會に列席すべき内地會議所は東京、京都、大阪を始め五十餘ケ所に朝鮮の十ケ所より多きは四名少なきは一名の豫定なるを以て優に百餘名に達すべしと云ふ

●大西軍醫部長査閲

駐箚軍々醫部長大西龜三郎氏は衞生狀態視察の爲め龍山、平壤、京城等の衛戍病院を査閲すべく近々平壤に出發する由なり

●竹本副官等の昇進

軍司令部高級副官少佐竹本次郎氏は今回陸軍進級に際し中佐に又長谷川一等軍醫は一等軍醫正に昇進したり

●亞國名譽領事出發

アルゼンチン名譽領事ショフアールド氏は六日午前十分南大門發列車にて新義州へ向け出發したり

●吉原副總裁の東上

吉原東拓副總裁は六日午前九時南大門發列車にて新橋へ向け出發したり

●宇佐美長官の歸期

平安南北道視察の爲め出張せる内務部宇佐美長官は來る十二日歸任すべし

●兩支配人送迎會

韓銀仁川支店太田横山支配人の送迎會は五日午後七時仁川倶樂部樓上にて開會久水府尹一同を代表して送迎の挨拶を述べ次に太田横山新舊支配人の答辭あり主客十二分の歡を盡し散會したるは同九時頃にて出席者は官民百餘名にて盛會なり

●關屋局長の出發

關屋學務局長は五日橋本屬を隨へ宇佐美長官一行と共に平安南北道の教育視察の途に上れり

●山岡稅關長入京

山岡釜山稅關長は六日朝南大門着列車にて入京したり

▲相場電報(六日)

(明治町西村支店着電)

▲大阪株式(二月限)

		(前場)	(後場)
▲神戶電鐵	寄	三八、三〇	三八、四〇
	引	三八、〇〇	同上
▲京坂電鐵	同	六〇、〇〇	六〇、一〇
	同	同上	六〇、二〇
▲鐘淵紡績	同	一〇五、五〇	一〇五、八〇
	同	出來不申	一〇五、五〇
▲日本郵船	同	九六、八三	九七、五〇
	同	出來不申	出來不申
▲東京株新	同	一三五、一〇	一三六、七〇
	同	一三五、六〇	一三六、三〇
▲大坂株式	同	一四二、一〇	一四三、三〇
	同	一四二、五〇	一四三、〇〇
▲同直取引	同	一四〇、五〇	一四一、四〇
	同	一四一、一〇	一四一、五〇

▲大阪期米▼

▲前場● 十二月寄十四圓五十九錢止五十六錢▲一月寄六十三錢止六十錢▲二月寄九十五錢止九十四錢

▲後場● 十一月寄十四圓五十八錢止同上▲一月寄五十八錢止同上▲一月寄九十一錢止九十二錢

▲仁川米豆取引▼

▲前場● 一月寄九圓五十三錢▲最高五十三錢▲最低四十九錢▲止同上▲二月寄九圓五十錢▲最高五十四錢▲最低四十八錢▲止四十九錢

▲後場● 一月寄五十錢▲最高同▲最低四十九錢▲止同▲二月寄四十七錢▲最高五十一錢▲最低四十七錢▲止五十錢

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 五日の分如左
乘車客 七五〇 下車客 六八七
乘車賃金 一八三三、九四

▲南大門荷物扱高 五日の分如左
發送 五四噸 到着 三五一噸
發送賃金 九二〇、三九

▲龍山驛の乘降客 五日の分如左
乘車客 一九六 下車客 一八九
乘車賃金 五六八、六四

▲龍山驛荷物扱高 五日の分如左
發送 七噸 到着 二五五噸
發送賃金 三三、一〇

▲仁川港の船舶出入▼

▲筑後川丸 七日長崎より入港
▲乾沖丸 同 門司より入港
▲紐雄丸 同 大坂より入港
▲君か代丸 同 大阪より入港
▲筑後川丸 同 鎭南浦大連へ向出港
▲君か代丸 同 大阪へ向出港

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
十二月六日	二一五、九五九、四〇	五二六

▲治外法權▼

對民會市民の聲

對民長民會議員の聲、愈々八ケ間敷なつて來た樣だ、如斯くんば民團納税者にして納税を怠り或は納税を拒絕する不心得者が起らぬとも限らぬ▲折角今日迄各種の經營を無事に進ませて來た我民團をして假令一時たりとも暗雲の中に包ましむる者は誰れか、云はずと知れたソレは總督府だ▲併合の結果朝鮮人は幸福になつた、彼れ等の或者は貴族になつた、彼れ等は恩賜公債を頂戴した、今日の彼れ等は恩賜公債の賣却若しくは貴族銀行の設立等の如きノンキなる事に心配をする位だ▲翻つて移住内地人の狀態は如何、併合其物より直接に受けた利益と云ふは何物もないのだ、併しソレはまづ夫れとして集團的幸福の基礎たる民團が併合の結果として宙宇に迷ふ樣にされるとは甚だ不道理の事だ▲總督府當局者は辯解せん、今は過渡の時代だ、過渡の時代に於ては多少の犧牲は免れずと、嗟薄幸なる移住民汝は三十九年以來過渡期の犧牲として扱はれて居るのだ▲聞く寺内總督は近々歸任されると、思ふに民團の事をして現在の如く曖昧の狀態に置くのは決して總督の本意でもあるまいダカラ總督の歸任早々市民は直接總督に訴ふべしだ▲訴へると云へば總督對秋吉の朱安鹽田訴訟事件に付き仁川裁判所は今度朱安の現場に於て假裁判所を開いた、勝敗は別として審理を愼重にする司法官のヤリ口は嘉すべき事だ▲某消息通の曰く朱安一件の起りは度支部當局者の食言にありと、噫當局の食言若し事實なら惡むべき事だ▲煙になつた筈の朝鮮煙草會社發起人等は今にアキラメが附かず、假令小規模でも良いからなどと設立を目論んでる、すテサテ往生際の惡い亡者共だ。

今日の運勢

●十二月七日舊十一月五日●三碧先負丙午危△一白●物事區り難し新事及計畫●密議熟談婚談共同協約効なし其他平凡△二黑●痰病學事及子孫の事任意たるべし其他手控への事△三碧●諸事手控への事旅行婚談新事集團結社に尤も凶盜害遺失防ぐべし△四綠●商取引に不利の事多き日なり懸念すべし遺失防ぐべし△五黃●盜害紛擾畏るべし建築動土に吉他は見合せたるべし△六白●障害多き日新事旅行不動產の事に大に忌む無心要求にあふあらん△七赤●殷業建築に吉他は手控への事殊に勸誘要求防ぐべし△八白●徒勞多し諸事控へ目の事談議婚談締約協定効無し△九紫●便宜利得ある日なり大抵吉但し不和葛藤の端を惹起し易し

●天氣豫報（自六日午後六時至七日午後六時）

晴れ

辰子の御芽出度

▽辯護士某殿の御奮發

花月の辰子と云へば粹樣先刻御存じの通りイナッコイところが賢りものとなつて隨分と持て囃された花形藝妓夫れが先日五百圓の前借を拂つて廢業した同人に御親類筋も少なからぬは知れたる事の内に明治町邊に住はるゝ辯護士某殿とは待合壽で逢見た以來深い〳〵交情となつたのなるが此の某殿と云ふはたゞ人のよく在らつしやる御職掌に似ぬ至極の初生で此の妓と斯うなる迄と云つたら與樣大切金錢大切と出精せられ居たので家內安全僅の間に一萬四五千圓の蓄財も出來たれば誠に他も羨む程なりしを月並ながら月に叢雲、花に嵐の比喩の通り同業の惡戯者等が茲に目を着け何うだ一番彼れを費消して遣らんと碌でもない量見を起し昨年の九月中大、中の兩人して花月に引つ張り出し藝妓仲居を擒にしての某殿軟化策マンマと効を奏し其の後と云ふものは家を外の放蕩郎となり濟し芝居見物にも辰子と手に手を取つて此れ見よがし夫れと見たる惡玉連は手を拍ての大喜びで煽るは〳〵然らでも騰り切つた熱度は極點に達して遂に此の度の落籍となつたりされど流石に妻女の手前もあることとて公然何うと云ふ譯にも行かず其處でとつおひつの思案中先日間瀟灑業して藝妓屋花家の主人となりたる元花月樓のお福が親切一方から暫らく私の處でお預り申して置きましようとの話に何分ともれ賴ん申すこととなりたるなりとは芽出度し〳〵

妾を材料の詐欺

▽馬鹿を見た田舍大盡

黃海道安山郡居住閔德壽（三七）は妻閔召史と二人にて多少資產を有するに子供一人もなきより妾を持ち小兒を儲んと去月十五日京城に來り西部蛤洞百七十四統三戶宿屋業李東鎬方に止宿し主人に來京の趣旨を話し相當の妾あらば世話し與れと賴み自分にても諸所を探し居りたり然るに茲に慶尙南道釜山東萊邑內面福宗洞七統十戶尹相會（二三）なる者何か要件ありて來京し同じく李東鎬方に止宿中なりしが李より閔が妾を探し居る旨話ししに尹は自分に心當りあるから一應話して見るべしと云ふより何分宜敷と賴み置きたり然るに尹相會は奸策を廻らし自分の抱へ妾金姓女（二五）が東部管內の或る溫突に居住中なるを幸ひ二人話し合ひ置き十六日閔德壽を連れ行き氣に入りしかと見せたるに金姓女の容貌が美なるにぞ非常の大氣に入りとて是非周旋爲し與れと賴みたれば尹より女に話したれば三十圓許り仕度費を貰へば行く旨答へしかば三十圓は五十圓でも出すと云ふより三十圓を閔より出さしめたるまゝ今日は出發する明日は同行すると日を延し十一月二十九日に至りたるに更らに出發せざるより不審に思ひ訴へる旨嚴談せしかば尹は更らに奸智を出し愈々廿九日夜行にて出發さす可ければ南大門驛にて待てとこれは妾の道具なりとて渡したれば閔は大に喜び待ち居りぬ然るに尹は僞造貨幣を三十圓餘其の荷物に入れ置き銅峴分署に對し閔德壽なる者僞造貨幣所持し目下南大門驛に居る旨密告せしより直ちに取調しに前記の事情判明尙僞造者は昨紙報導の文永植なる事判明目下嚴重に取調中なりと

●間の拔けた詐欺

山口縣大崎市伊保田村生れ大西與吉（三四）は窃盜二犯の前科者にて去る三十九年頃渡鮮し京仁間に何にかよき事もなきかと仁川に下宿を爲し日々何の爲す事もなくブラ〳〵遊び居たるに其隣室に下宿をなし居る宮久柳作と云ふ左官職人と懇意になりたり然るに柳作は無學なるより與吉に代筆を賴みて國元へ手紙を出し夫よりは再々與吉の代書にて手紙の往復を爲し居たり其後與吉は鎭南浦へ漁業に出掛けたるも慣れぬ事とて大失敗をなし困難せしより此に惡計を廻らし柳作の親に宛て自分は目下受負事業にて金の入用出來せし故三十圓丈け電報爲替にて送金を賴むと柳作の名を詐稱して手紙を出せしに何にも知らぬ親は早速送金せしかば與吉は仕濟したりと其の金を受取り消費し十月頃仁川へ舞ひ來りしが又もや前の味を忘れず柳作の親に今度は火災に罹りて丸燒となり着の身着のまゝにて困難し居る故二十圓を送金し與れと手紙を出したるに此時は前記柳作は親元に歸り居りしかば忽ち與吉の詐欺なる事判明し訴へ出たるより處々搜索の結果本月四日午後五時頃本町一丁目鮮人方の溫突にて取押へ一昨日檢事局送り

●コソ泥　通津生梁順乾（四五）は一昨日午後四時頃瀧町氏名不詳の日本人より「バケツ」三個と水仙鉢一個を窃取し花町二丁目古物商鹿毛彌作方へ持行き賣却せんとする處を取押へらる

●火の用心が肝要　六日午前二時頃龍山三角通り園田榮吉方前を宮原巡査が巡廻中家內より異臭を放ちしより家人を呼び起して注意したるに炬燵より失火し布團に燃へ移り居りたるより直ちに消し止め大事に至らざりしは目出度し

●十年四の破獄

永登浦監獄分監服役中の禁錮十年四䅁岡縣人岸本松藏は去四日夜看守の隙を窺ひ監房を破り何方となく逃走せしが後これを發見し直にそれ〳〵搜索中なれど六日正午までは未だ逮捕に到らざりし

●拾ひ物　仁川花房町二丁目一番地三島重嘉（三〇）は一昨日午後三時二十分頃同町航路標識工場裏小路を通行の際室本と彫刻せし印鑑と金圓入の蟇口一個を拾得屆出づ

●日宗本山の移轉

日蓮宗宗務局が靜岡縣安倍郡貞松村なる日蓮宗本山蓮永寺を朝鮮に移轉せしむる事に決定せしより先頃土地選定並びに布教打合せの爲め渡鮮したる日宗宗務總監佐野前勵師も此程歸東したるにぞ本月早々第一回評議會を開き明年一月更に臨時大宗會を開會し總ての準備を整ふる筈なるが移轉地は京城との呼聲高し

●泉岳寺の公園說

赤穗義士の墳墓なる東京芝區高輪の泉岳寺では最も安全なる方法の下に永遠に忠烈の遺跡を維持せんとし其筋にても豫てより其の方法を研究中なりしが偶該寺の檀信徒及ひ區民有志の人々より市の公園に編入せんとの希望を申出づる者あり東京市に於ても精神教育上には頗る適切なる地域なりと認め之に同意を表し居る由なれば監督官廳の認許を得たる上は直に公園として諸般の設備を爲すに至るべしと云ふ

歲末の泥棍街

▲是から鯨の季節

時雨が婆娑づいて來る炬燵が欲しくなる鯨の肉が市に上るもコレからだ鯨は十月の末より翌年の三月末迄を食料期とするが分けて十二月より一月中がこの季節となつてゐる、其の種類は克鯨を最上とするがコレは極めて稀れで滅多に顏を見せぬと云ふ代物、年によつては一頭も漁れぬ、ソコデ先づ普通最上と云つてゐるのが座頭鯨で次に鰯鯨、白長鬚と云ふ順序だ此外に抹香鯨と云ふのがあるコノ鯨は食料とはならず殆んど肥料にしてしまう仲間では馬鹿鯨の名があるくらい之に反してせみ鯨は一年に一頭漁るか漁れぬか中々の難物だが價は頗る貴く原價で一萬五六千圓はちやく〳〵ものだ、シテ紀州、土佐、朝鮮沖に育つ鯨群はノロマなのが多いさうだが油が多いのは何うしても土佐沖に限るやうだ次て畿內邊に供給してる鯨は紀州出のものが夥しく朝鮮鯨はかの暗紫色を呈し甚だ不味だこれは海の汐があんまり濃いせいだと云料理法の二三を明日の紙上より掲載して見やう

●日の丸市場の移轉

南大門通り二丁目日の丸魚市場は創業以來日尙淺きにも拘らず意想外の繁昌を來し魚類の集散額の饒多なる顧客の踏雜を極むる等の爲め自然手狹を感ずるに至りしより今回旭町一丁目歌舞伎座前に地を卜して以前より三倍大の家屋を新築し二三日前全部移轉を了せりと同時に業務を擴張し益需要者並に供給者の便宜を計るべしと云ふ

目こ日（六日分）

▲壽座　代り狂言は前「鈴木主水」切「三人阿古屋琴責」入にて十日迄は忠臣藏裏表通しなるよし猶は大入御禮として七日より木戶錢無料となし中錢は七十錢五十錢三十錢二十錢に値下すと

▲歌舞伎座　バラー商會の活動寫眞

●竹本晢登太夫の披露淨瑠璃會を聽く

琴城生投

同會は豫定の如く去る四日歌舞伎座に開かれたるが夕刻より聽衆漸く加はり七時頃に至りて滿場立錐の餘地なく歌舞伎座近來の大入なりしは同會の爲め欣ぶ所なり始め午後二時開會の筈なりしも援助の師匠連の中遲刻せし者ありしとかにて開會は數刻後れ爲に早く臨場したりし聽衆の待ち草臥れて退場せし向も尠からず見受けたり畢竟時刻の後れがちなるは日本人の弊習なるも折角援助を承諾したる師匠達は公德心を以て遲刻せぬよう心掛くべきが斯る場合に處する當然の義務ならずや遲出して聽客に迷惑を掛くる位なら始めより援助を謝絕して當てにさせぬこそよけれ其れが爲め其連員の演者にして出場に差支へ止むなく他の師匠を勞し所謂ツカミ合にて演奏したる向きも二三見受けたり聽く樂屋にて其不深切を鳴せる人々もありしと要するに今次の樂團は個々の會演に其趣きを異にし名は晢登太夫の披露會なるも其實各派合同の競技會とも見つべきものなるが故一層技藝に注意し愼重にして一語一節も苟もする事の出來ぬ譯は晴れの場所なるに斯く「ツカミ合」にて語るの餘儀なきに至らしめらるゝ連員こそみじめなものなり斯くの如き不深切なる措置を受くるが如きならば平素何を苦んで連中として其人に就き稽古する必要ありや某師匠たるもの宜しく反省して可なり又同時に斯人たる事を記憶せんことを勸告す予れば某師匠に恩怨なし演者の窮狀見るに忍びざるものあり同情の念に驅られて此に一言す是より當夜の短評を試むべし（つゞく）

▲平民文庫▼

▲南山生君の好意を謝す然し我輩は玉江女郞に二世かけたものが有らうがあるまいがそんな事に頓着するものでない要するに彼は女郞である金を出して買た我輩に對し買はれた其時だけ忠實に娼賣上の義務を果し滿足を與へれば足るので夫れ以上の無形の或るものを求めんとするのは罪である又求め得らるゝものでもない▲殊に泥水娼賣の味を忘るゝことが出來なくて二度まで身を沈めた程の手練もの其道の魂膽は能く飲み込んで居て種々なる衒策はして居るだらう證據は連月た職の月桂冠を獨占して居るのを見ても判る▲彼に馴弄されて居るものは慥に十指を屈するに餘る我輩も初めて彼女の熟きキッスに接したときは千金を酬ゆるも猶惜しからじと迄思つたものだが今では其パイオレットよりもロースよりも快く感した彼女の腋臭が鼻に付く程覺醒した安心して與れ給へ（本能生）▲仁川〇〇所々長宅の勝手元では風もないのに戸棚の戸がガタ〳〵動くやら鼠も出ぬのに其所邊がゴト〳〵云ふので奧さんは先妻の幽靈でも出るのではないかと神經を惱まして青くなつて居るそうだ惡い事は出來ぬものとの評判（仁川子）▲鷹（隼）生きたるもの一羽讓りたし希望の方は本欄にて住所氏名知せ下され（無名氏）▲れ寺の小僧さんで中山と云ふ人が桃山通を初めて居るが方丈さんは知つて居ますか（見聞生）▲昨夜南大門停車場にて川上官邸御用達と云ふ提灯を以て客待ちをして居る車夫を見うけたが川上官邸とは何處にありますかれ伺ひ申上ます（伺度生）▲府廳移轉問題も貴紙主張通り愈々中止相成候由貴紙の偉大なる動力を知ると同時に大庭府尹の宏量克く民意を容れられしを感謝致します之に就て過日貴紙掲載の貿易統計を地方稅關にて取扱ふの件は度支部の副長官たる鈴木司稅局長及明敏の聞えある有賀課長克く民意を容れ之が決行の勇あるや否哉現今の貿易統計が如何に民意に反し社會に不便を與へつゝあるかは先般の商業會議所聯合會に於て滿場一致の決議を見たるに依るも明なり鈴木局長の人物手腕既に定評あり有賀課長も鎭南浦稅關長當時非常の敏腕着々成績を擧げし人と聞きたり敏腕の二長官を戴き居る關稅課にて何日迄も不完全なる統計を作り而も中央にて仕事をして地方へ報告すると云ふ古今未曾有の愚をなす聊か疑問なり此疑問を解決するには是非局長課長の明說と貴紙の御盡力とを願ふ（一貿易商）

●新年休養會の主催

本社は來春早々溫陽溫泉に於て新年休養會なるものを主催する計畫中なるが其の趣意は多數一所に會して而して費用を節して愉快に遊ぶと云ふにあるのである新年と云へば誰れしも休むことが多く會飲會食に夜を更すことの機會が多い從つて健康を害することが多い此れは折角の正月をダイなしにするものと云ふべきである然るに此の閑暇を利用して入浴しつゝ集團的に經濟的に衛生的に休養すると云ふのである此れは社交上にも又尠なからぬ利益あることなりと信ずる計畫の委細が追つて發表されたならば乾度歡迎せらるゝであらふ

諸公債諸株券現物賣買

迅速確實に御取扱可申候

兼業 京城本町三丁目

大坂野村徳七代理店

田中友吉商店

電話九三九 電略(タ)

土佐紙工業株式會社特製品

珍しき進物品ハ
はぎめなし
あさひ巻紙
体裁よくて
値かやすい

●生徒募集

●刺繍專科生十五名(卒業期一箇年)
●造花專科生十五名(卒業期一箇年)
●みしん裁縫科生十五名(卒業期六箇月)
●本科及技藝專修科補缺者若干名

右募集す希望の方は來校せらるべし

京城旭町一丁目

京城女子技藝學校

●各學期補缺生若干名募集す

京城夜學校

開業廣告

一金錢貸借、土地建物鑛山株券の賣買

其他一般の仲介

右營業を開始致候間何卒御用命相成度此段相願候

京城新町三丁目二十四番戸

岡田幾三郎

質

本町一丁目裏通り 支那領事館筋

南商店

電話一〇九六番

◉貸金

旭町二ノ一五 別府組車帳場筋向小路 高橋

有給者にて極秘密に低利融通可申候

商標

諸公債株式現物問屋

釘本藤次郎本店

長電話四五番

京城本町五丁目

開業十五週年新築落成

四方の御得意様益々御機嫌能御座被遊賀悅之至りに奉存候陳者今回

貳丁目に新築致し御客様方の御意を伺得るしこう仕り

席御料理に丁字風呂をわかし滑けつなる料理と親切を勉強を以て御注文に應じ安價をむねと致し候間何卒倍し皆様方の御引立を伏て奉願上候敬白

會席 御料理 丁字風呂

壽町貳丁目

有明樓

電話七百三十八番

米澤糸織

此度家元より直取寄せ廉價に販賣仕候間御用命仰付被下度願上候

仁川京町郵便所筋向

米澤屋 佐藤商店

資本金五百萬圓

本店 東京日本橋區呉服町

支店派出所 (橫濱 天津 釜山 京城)

東京建物株式會社京城派出所

營業科目

土地建物抵當貸附
月賦償却建物建築
土地建物賣買紹介

京城旭町二丁目百十五番戸

電話番號一六八一番

季節向用品荷揃

一膳、椀、重箱、菓子器、卷莨入、各種並に東京火鉢、柳行李、鏡臺、其他家什具類一切

右新荷着精々廉價販賣仕候間多少に不拘御用命の程願上候

(テ)

京城本町四丁目

增田分店

電話一五六六番

純粹東京新品荷揃

絨仕立物一式 トンビ東コート インバチース 厚司絨前掛

毛布各種 軍隊用カーキ色毛布並にヂャケーツ 種々メリヤス類 靴下手袋帽子防寒用品各種

右儀實品續々澤山入荷仕候間多少に拘らず御用命御願上候也

地方ゆ位様御注文の節は迅速に御發送可仕候也

毛織物類
絨仕立物一式
メリヤス類
防寒用品
外雜貨種

卸商 (山形に二) 東京暮田支店

京城明治町一丁目百二十二番戸

電話一六四二番 電略(クシ) 振替口座三三七番

見よ

次亞燐服用の力で

目方は参百七拾磅を示せり

世の中に

痩せた人 産後の婦人

衰弱の方 病後の補血

は試に 服 を召され よ

藥價 大瓶 壹圓五拾錢 中瓶 九拾錢 小瓶 五拾錢

◎賣捌は各藥店にあり

京城梅毒病院

京城相生町南門通横 (電話一二九四番)

自午前八時 至午後九時

●花柳病專門 附、痔疾一般

●入院隨意●

院長 醫學得業士 蘆田耕平

歲末年始の御贈答品に付ては何卒一度御越の上大陳列場を御隨意御一覽被下度品揃と確實とは弊店の特色に御座候

尚種々見切品も有之候

京城大漢門側

洋酒食料品 紙卷葉卷莨 化粧品類 直輸入

エル、ロンドン商會

電話九九五番

○歐米商品は何品によらず薄口錢にて輸入御取扱仕候

朝鮮牛種及牛乳改良元祖

當場飼畜の乳牛は悉くエーアシヤ、ゼルシ、ホルスタイーンの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり

當場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし

消毒 純良 高等 牛乳

京城南大門外

荒井牧場 (電話一〇五六番)

龍山本町三丁目

龍山販賣所 (電話二〇二番)

當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候

當場には御進物用牛乳切手發賣致候

其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候

南大門通三丁目光宣門側

御待合 紅葉

電話一三八一番

義齒術全般

京城旭町一丁目

齋藤英壽

電話一四一四番

營業科目

和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐アレシン
穀物食鹽
諸染料類

韓宮御用達

發賣取次

東京 ランバーゾン商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田[illegible]會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
[illegible]

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 電話(三〇番)

出張所 東京京橋南鍋町一丁目 電話新橋三六九二番

弊館には夜警の設備あり

陸軍指定旅館

鐵道院指定旅館

仁川水產組合指定旅館

各保險會社指定旅館

晚飯ぬ好き事第一なり

御客樣の安全此の上なし

仁川海岸

旭屋旅館

電話二五一

家傳

名灸(といや)

●うちみ くじき はねつき かつけ

特に 胃腸病 專門

毎日午後二時迄點灸す

明治町一丁目百十番戸

荒川マッサージ院

新案 (やまに九) 九たびまた

和洋古物各種

堅牢で廉價な山繭織

京城本町一丁目 (やまに九)

來原商店

電話四八三番

(やまに九) 出張店

京城本町五丁目 [illegible]

米國スタンダード製 松印石油
下總國野田 (キ)印醬油
仁川日本醬油株式會社製 (二)印醬油
下總國万上印味淋
尾張名古屋 (ヤ)印酢
汗浦根炭及日本木炭
英米煙草會社製品各種
神戸株式會社布引礦泉所製馬蹄印
豐後湯の花精製品(入浴用)
湯の花菓子(茶用)瓶入各種

特約店

雜貨部 (分) 京城本町六丁目 藤富國太郎本店

貿易部 京城南大門市場 藤富國出張所

木炭部 京城永樂町二丁目 藤富國出張所

電話三〇八番 電略(タ)

其他和洋酒、米、麥、石炭、みかん、洋臘、瓦煉瓦、明太魚、鰊昆布、簾、青莚、味噌、鑵詰、千香、其他乾物類一式

▲病室落成▼

▲入院隨時▼

時間 毎日午前八時ヨリ正午迄(毎日曜及大祭日休) 月水金午後四時ヨリ六時迄

京城旭町壹丁目六十七番戸 (電話六九二番)

一般外科診療 鈴木外科醫院

前大韓醫院外科主任 鈴木謙之助

產婦人科

京城明治町一丁目 勸工場横 (電話九六〇)

院長 醫學士 本間健兒

診察時間 自午前八時 至午後三時

入院隨意

電話開通一千五十番

東大門 池田出張所

朝鮮人向物品委托賣買

田舍行駄馬運搬所

南大門外 池田商會本店は今回從前の場所より牛丁西へ移轉し業務擴張仕り候間倍舊御引立相願候

京城御成町

食料品 雜貨 商 池田商會

電話七五九番 振替口座朝鮮二四七番

ライト サンライト ムーンライト

製菓部

弦齋流割烹

すし 津称

南山町一丁目

電話千五百二番

古着、古道具 諸雜貨、疊建具

賣買處

京城永樂町二丁目

五十競賣所

電話一四〇七番

長崎流

○しるこ

○茶碗むし

○むし壽し

(出前も御好み應じ可申候)

南山町二丁目(南山涡上暸)

松その

(電話一一八五番)

瀛船出港廣告

月串、甕洞、海州行

天草丸 安來丸 成歡丸

隔日出港

仁川港海岸通 (電話四一九)

柴田回漕店

(芙江公州) 問出帆廣告

芙江發 毎日後一時 京城方面ヨリ急行接續

公州發 毎日前七時 京城方面行急行接續

御用向ノ御方ハ(京城仁川鳥致院芙江公州)中條店へ御尋被下度候 (荷客共御取扱可申候)